



<http://www.jaaso.or.jp/>

JAあそだより

平成31年1月

謹んで新年のお慶び申し上げます



「初日の出」(二重の峠から阿蘇山を望む) 撮影＝河原 浩

■今号16ページ 主な内容

- 「新年のご挨拶」代表理事組合長 原山 寅雄
- JA阿蘇、JA大分大山町と包括連携協定書に調印
- 「農業所得アップをめざして」JA阿蘇の取り組み
- 収穫感謝祭やスポーツ大会など多彩なイベントで盛り上がる!
- 生産各部会の生育・出荷・査定会などの動きetc.

今号も話題と情報を満載!!



●/▲ 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111 / FAX 0967-23-1088

平成31年(2019年)新年のご挨拶



「農業危機を組合員と共に突破しよう」



阿蘇農業協同組合

代表理事組合長 原山 寅雄

新年、明けましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。当組合の事業運営につきましては、日頃から格別なるご協力とご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の阿蘇管内の農業を振り返ってみますと、水稲・園芸作物ともに順調な生育ができ、夏秋野菜においては全国的な品薄状況もあり高値安定で出荷ができました。災害の多い年が続いていましたので、大きな自然災害がなかったことに対して感謝をしなければと思っております。

青果物の販売におきましては、生育段階からの出荷計画を基に安定供給と青果市場等へ出荷量の分荷調整を行う「青果物コントロールセンター」を利用し、また本年度より西日本一のトマトと熊本県一のアスパラガスのセット販売戦略が、功を奏していることは言うまでもありません。

また、平成30年産米の阿蘇コシヒカリは4年連続で全国一高い仮渡金にすることができました。それに伴いヒノヒカリ・あきげしき・ひとめぼれ・いただき等の単価も引き上げる事ができ、農家所得の向上に繋がったと思えます。

また、直売所へ出荷する組合員のさらなる所得向上と生きがい作りのため、昨年11月に大分大山町農協と「包括連携協定」を締結しました。大分大山町農協の販売力と6次化の知恵を活用し、阿蘇生まれの農畜産物を多く消費者に届け、より農家の所得の向上につなげます。

農業情勢では、昨年末に発効されたTPP11と、日米間のFTAとTAGによる貿易交渉に注視し、迅速な対応をしなければなりません。国内では本年が「農協改革」節目の年となります。国の言う農協改革は農協弱体化改革であり、農協では農業を次の世代に引き継ぐために、「自己改革」に取り組み続けています。1月下旬より、阿蘇農協の自己改革の評価と総合事業の必要性、准組合員の事業利用継続等について組合員の意思を把握するため「JAの自己改革に関する組合員アンケート」を実施します。

このアンケート調査の結果次第では、信用事業と共済事業が分離され、農協事業が縮小してしまう事さえあります。地域と農家のためには農協が必要であり、組合員の作った阿蘇農協がなくなるとは困ります。組合員からの評価をいただくために「組合員アンケート」を行いますので、このアンケートのご協力をお願いいたします。地域の経済と産業を支えるため役職員一丸となって努力してまいります。

併せまして、2019(平成31)年度から総合3ヶ年計画を策定いたします。「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」に継続して取り組み、日米間の貿易交渉により、畜産を抱えているこの阿蘇が影響を受けないよう、農業と地域に永続的に貢献できる農業協同組合を目指してまいります。

結びに、迎えた本年が皆様にとって更に地域にとっても、明るく輝かしい一年でありますことをご祈念申し上げます、年頭の挨拶といたします。



JA阿蘇、JA大分大山町(日田市)と包括連携協定に調印

平成30年10月25日、阿蘇農協(原山 寅雄組合長)は日田市の大分大山町農協(矢羽田正豪組合長)と組合員約800人と包括連携協定書の調印を行いました。調印式は山口祥義佐賀県知事の立会いのもと、大分大山町農協の「木の花ガールズセンター」で行われました。この包括連携協定は大分大山町農協の



県境を越えお互いの強みを活かし 販路拡大に向けて取り組み推進



協定書に署名した原山組合長と矢羽田組合長 中央は調印式に立ち会った山口佐賀県知事

2農協が包括連携協定

日田・大分大山町と阿蘇

日田市の大分大山町農協(冷地野菜生産者団体として(矢羽田正豪組合長)組合員約800人)は、熊本県阿蘇市の阿蘇農協(原山寅雄組合長)と包括連携協定を締結し、農産物の生産・加工の技術連携を進め、農産物の相互販路を拡充する。阿蘇農協は、県産品の生産・加工の技術連携を進め、農産物の相互販路を拡充する。阿蘇農協は、県産品の生産・加工の技術連携を進め、農産物の相互販路を拡充する。

読売新聞 (平成30年10月27日)

農産物加工のノウハウや販路、阿蘇の高冷地農業などお互いの強みを活かして、県境を越えて販路拡大に向けた取り組みを行おうとする協定です。現在、JA阿蘇よりJA大分大山町への出荷販売高は9千万円ですが、今後は販売高2億円を目指し、農協改革や5年後の販路を見据えた上で、お互いの農家所得向上を目指します。尚、当日の調印式の模様は大分合同新聞と読売新聞より取材があり、それぞれ紙面に掲載(掲載記事参照されました。(写真左上)調印式に出席したJA阿蘇・JA大分大山町役職員)

売り上げ増へ協定 阿蘇農協と

大山町農協

日田市の大分大山町農協(阿蘇の冷地農業とつなぐ力を生かすこと)は、熊本県の阿蘇農協(原山寅雄組合長)と包括連携協定を締結した。阿蘇農協は、県産品の生産・加工の技術連携を進め、農産物の相互販路を拡充する。阿蘇農協は、県産品の生産・加工の技術連携を進め、農産物の相互販路を拡充する。

大分合同新聞 (平成30年10月27日)

第20回JAバンク熊本 年金友の会親善グラウンドG大会

11月14日、パークドーム熊本で「第20回JAバンク熊本・年金友の会親善グラウンドゴルフ大会」が開かれ、県内JAから480人が参加しました。

JA阿蘇からも地区予選を勝ち抜いた45人が参加しました。試合はA・Bブロック4コートに分かれ行われ、選手の間は日頃の練習成果を発揮し熱戦を繰り広げました。試合の結果、三重野實さん(蘇陽支部)Aブロック優勝、山野一信さん(西原支部)Aブロック5位、井紀和子さん(産山支部)Aブロック6位に輝きました。閉会式後のお楽しみ抽選会では、当選番号が発表されるたびに歓声が上がり、当選者は豪華賞品を手に入りました。後日、蘇陽支部では三重野實さんの優勝祝賀会が盛大に開かれました。(写真右上)右から井さん、優勝の三重野さん、山野さん ※関連記事11・12頁にも掲載



写真=蘇陽支部での三重野さんの優勝祝賀会と開会式の様子

JA自己改革ただいま実践中！

「組合員の皆さまへ」組合員アンケート調査へのご協力のお願い

JA阿蘇では、組合員の皆様から自己改革の取り組みに対する評価を伺い、より一層組合員の皆さまの期待に応え、魅力ある地域の農業や暮らしを支えるJAとなれるよう、組合員アンケートを平成31年1月より実施いたします。

つきましては、職員が訪問する際には、ご協力頂きますよう宜しくお願い致します。



JAでは「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、農業所得の向上や住みよい地域づくりの実現に向け自己改革をすすめてまいりました。



こうしたJAの取り組みについて、すべての組合員の皆さまにアンケート調査を実施することといたしました。



田植えの状況を確認するJA職員
(「くまもとあぐりん」より)



地域の情報が詰まったJA広報誌
(「くまもとあぐりん」より)

皆さまのJAに対する評価が、今後の農協改革の動向に大きく影響するものと思われます。



食農教育で田植え
(「くまもとあぐりん」より)

そこで、JA自己改革のご確認をいただくと同時に、JAの自己改革の取り組み姿勢を前向きに評価いただきますようお願いいたします。



今後とも組合員の皆さまとともに、未来を担う子どもたちのためにも、農業の振興を通じて、食・緑・水を守るとともに、安心して暮らせる地域社会の実現を図ってまいります。

アンケートに関する問い合わせ先
JA阿蘇 総務部 ☎ 0967-22-6111

 JAグループ熊本

JA阿蘇の取り組み

農業所得アップをめざして

「農畜産物販売強化への取り組み」

食味鑑定コンクール特A米獲得の実現と直売米販売を拡張する販売戦略の実現に取り組んでいます。



「農畜産物販売強化への取り組み」

取引主要市場に対する各品目ごとの部会販促活動及びトップセールスを実施しています。



「農畜産物販売強化への取り組み」

青果物コントロールセンターを利用した有利販売に取り組んでいます。



「農畜産物販売強化への取り組み」

営農指導員による指導の強化を行い生産者所得の向上を図っています。



「農業労働力確保への取組み」

労働力不足及び規模拡大に取り組む農家の皆さまに外国人技能実習生の受入事業等を行っています。



「生産資材コストの低減への取組み」

生産資材のコスト低減を図ることを目的にダンボール入札会を実施し、入札の引き下げ効果を最大限に発揮しています。



すみよい地域社会をめざして

「生活文化活動の取り組み」

各支所における組合員・地域住民の「集い・交流の場づくり」を目的とした「収穫祭」、「感謝祭」を実施しています。



「食農教育への取り組み」

「食」と「農」をテーマにした「まるごとあそっ子スクール」を開催し、子どもたちが楽しく食料や農業の大切さを学ぶ学習会を実施しています。



「広報活動の取り組み」

組合員の皆さまのいろいろな活動や農業・JAの情報について、「JAあそだより」、「農業新聞」等を活用した広報活動を行っています。



元気ハツラツ、さわやかパワーで、2019年にバトンタッチ!

初秋の阿蘇路を爽快に 「まるごと阿蘇ウォーキング」



J A阿蘇は10月27日「まるごと阿蘇ウォーキング2018」を阿蘇市で開催しました。このイベントは、J A阿蘇が取り組んでいる『健康寿命100歳プロジェクト』の一環として、参加者にウォーキングを通して世界農業遺産への経緯や阿蘇の風景を満喫してもらい、地元の農畜産物をPRすることなどを目的にしています。

今回は阿蘇神社やポケットパーク湧水など、パワースポットを巡る8kmをJ A厚生連の指導で新設、130人の参加者が初秋の阿蘇路を爽やかに歩きまわりました。参加者は「ウォーキング日和でも清々しく歩けた」とか「空気が澄んでいて気持ち良かった」とか「来年も参加したい」など、感想を語っていました。



ウォーキング終了後は、地産地消みや地元小学生が食農教育で育てた新米を使ったおにぎりを食べ、疲れた体を癒していました。(写真上：中川ウォーキングを楽しむ参加者、写真下：スタート前のウォームアップ)

「スポーツの秋は女性部から」 くらしの活動で協同の輪を実践

J A阿蘇女性部は10月16日、阿蘇市旧中通小体育館でスポーツ大会を開きました。秋の恒例行事となった同大会は今回で3回目となります。開催のきっかけは2016年に発生した熊本地震の被害で落ち込んでいた部員たちを励ますため、大和とよ子女性部長(当時)の発案で「くらしの活動の一環」

として開催されました。

地震から2年半が経った当日も多くの部員たちが集まり、巨大輪投げや的当てゲーム、全員参加のダンスなどに興じました。会場では女性部各支部の垣根を越えての交流が行われ、参加者は元気な笑顔に満ちていました。

梅田泉女性部長は「このような交流



この人…
だ〜れだ?

会が毎年開催できて、とてもありがたい。年に1度しか顔を合わせない方もいるが、元気な顔が見られて嬉しかった」と笑顔で話していました。

大会終了後はお楽しみ抽選会が開かれ、J Aの商品や家の光の景品が当選者に贈られました。(写真はいずれも盛り上がった女性部スポーツ大会の様子)



JA阿蘇管内「収穫感謝祭」など多彩なイベントで盛り上がる!

「高森中央支所収穫祭」
盛り上がった演舞や踊り
野菜販売や赤牛焼肉も大賑わい



高森中央支所収穫祭が10月27日、高森野菜集荷場前で開催されました。ステージでは地元の幼稚園や保育園児による和太鼓や演舞、JA女性部と女性職員による踊りや「それいけ!アンパンマンショー」など多彩なプログラムが繰り広げられました。

また、会場では野菜販売や赤牛焼肉などの飲食ブースが並び、来場者には女性部による、のっぺい汁が振る舞われました。



写真= “コスプレ” や演奏に拍手喝采!!

「一の宮・阿蘇町中央支所感謝祭」
日頃のご愛顧に感謝を込めて
ステージイベントに大歓声

組合員やJA利用者に日頃の感謝を込めた一の宮中央支所・阿蘇町中央支所感謝祭が10月27日、秋晴れの下、中部野菜選果施設で開かれ、組合員ら約1500人が来場しました。

当日は北海道胆振東部地震へ募金をした方に、北海道産焼サンマが振る舞われました。

ステージ上では地元YMCA赤水保育園の和太鼓演奏に始まり、阿蘇中学校のブラスバンド演奏、ご当地戦隊ショー、猿回し劇など多彩なイベントが次々と披露され、会場を盛り上げました。イベント終了時には熊本大同青果

による野菜・果物の競りが行われ、来場者は秋の味覚を両手いっぱい抱えていました。来場者からは「身近なJA阿蘇が感謝祭を開いてくれて嬉しかった。楽しかったので来年も開催してほしい」と感想を語っていました。
尚、地震募金はJA熊本中央会を通じて被災地へ送られました。



赤水保育園による和太鼓演奏、ご当地戦隊ショー、猿回し劇、我れ先にと競りに参加する来場者の皆さん…、大盛況の感謝祭!



JA阿蘇管内「収穫感謝祭」など多彩なイベントで盛り上がる!

「阿蘇の新米お届けします」
あそつ子が感謝祭会場で販売



JA阿蘇が食農教育の一環として開催している「まるごとあそつ子スクール」の生徒(あそつ子)らが、5月に手植えを行い9月に収穫した特栽培コシヒカリ1等米を一の宮中央支所・阿蘇町中央支所感謝祭会場で販売体験をしました。

あそつ子らは年間を通じて食と農の繋がりがりや食べ物の大変さ、それを作る農業の大変さを学んできました。当日はあそつ子らが店頭に立ち、自作の販売ポップを片手に「私達の作った新米のコシヒカリはいかがですか、2kg1袋で1000円になります!」と声を張り



手作りポップを片手に販売体験をするあそつ子

上げました。来場者は「あなた達が育てたの。凄くきれいなお米だね」と褒めていました。

あそつ子らは「お米を育てるのも大変だけど、販売するのはもっと大変!」農家の人たちの大変さが販売まであるとは思わなかった!などと感想や販売の苦勞を語っていました。

『小国郷収穫感謝祭』
多かった親子連れの来場者
お楽しみ抽選会に会場興奮!

小国郷野菜集荷場で11月17日、小国郷収穫感謝祭が開かれました。

感謝祭は農畜産物収穫への感謝と組合員・地域住民との親睦、町内外住民へのJA阿蘇の美味しい農畜産物の提

供・アピールの場として毎年開かれています。今回は北海道胆振東部地震へ募金をした方に、北海道産焼サマが振る舞われました。

感謝祭へは近年、親子連れの来場者も多く、JAファン作りも兼ねて猿回し、アンパンマンショー、くまモンショー、そして地元中学生による吹奏楽演奏など多彩なステージショーが行われました。当日は晴天に恵まれ温暖であったため約800人の来場者があり、大賑わいを見せました。

来場者からは「感謝祭のような大人から子供まで楽しめる場が少なくなってきた。今後もこのような場を設けてほしい」とか、「楽しかったので来年もまた来ます」などの感想が聞かれました。

小国郷収穫感謝祭も、大盛り上がりだ、モン!



生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの情報①

秋冬ダイコン出荷最盛期を迎える
小国郷大根部会



朝の冷え込みが感じられる10月下旬、小国郷地区では秋冬大根の出荷が最盛期を迎えました。生産者は夜明け前から圃場へ収穫に行き、自宅で洗い選別し13kg用の箱に詰め、夕方、集荷場へ持ち込んでいます。取材時（10月下旬）、小国郷野菜集荷場には日量2000ケース（1ケース13kg）の持ち込みがあり、九州管内の青果市場に出荷されていました。作柄は9月に入り台風の影響と気温が一気に下がったため、出荷規格の小さいサイズが例年より多くなっています。

小国郷大根部会の佐藤由孝部会長は「今年も品質良好の大根が来ています。安定した数量を出荷していきたい」と抱負を語っていました。

販売担当の波多野勝郎職員も「今年単価も良く、数量も順調に出ている



ので販売しやすい。寒くなるにつれておでんが食べたくなる季節になるので、おいしい小国郷の大根を食べて頂きたい」と笑顔で話していました。

取材時、出荷数量20万ケース（前年比103%）、販売金額1億9000万（同115%）で福岡県を中心に出荷されています。（写真上＝出荷を行う佐藤さん夫妻、写真右＝選別を行う佐藤ゆき子さん）

小国郷「春菊」品質良好！
鍋物シーズンの12月まで
熊本・福岡・鹿児島へ出荷



11月上旬、小国郷地区では春菊の出荷が最盛期を迎えました。小国郷野菜集荷場には日量130ケース（1ケース5kg）が持ち込まれ、熊本・福岡・鹿児

島の3県を中心に出荷されています。出荷は5月から行われており12月まで続きます。今年の春菊は7～8月の猛暑により生育不良となり出荷量が例年に比べ減少したため、9月以降は例年より多く播種を行い、鍋物シーズン時期に最盛期を迎えました。

小国郷春菊部会の佐藤竹良部会長は「今年は夏の猛暑で炭疽病の発生が多く、思い通りの品物が出来なかつたが、10月頃から品質良好な春菊が出来だした」と話しており、指導担当の大塚孝政職員も「今後の栽培管理として保温を行い、寒痛みをしないように注意して、この良好な品質を出荷の最後まで保つていきたい」と話していました。

2018年度は10月末現在、8700ケース（計画対比73%）、販売金額2700万円（同82%）の出荷となっています。



（写真上下＝生育の確認や

選別作業をする佐藤さん夫妻）

栽培管理と病害虫防除で現地栽培講習会
小国郷ほうれんそう部会



小国郷ほうれんそう部会は11月上旬、秋冬期の栽培管理と病害虫防除についての現地栽培講習会（＝右写真＝）を管内3か所で行いました。

寒冷期への品種選定として低温伸張性のあるものを選び、管理作業の中ではハウスの保温を行い、スムーズな生育に心がけるように指導が行われました。今後は、ほうれんそうの生育日数が60～100日とかかるため、病害虫が発生してからは遅く発生前に防除徹底を行い、さらにコナダニ（ホウレンソウケナガコナダニ）やべと病が発生しやすくなるので特に注意が必要となることなどが指摘されました。

指導担当の大塚孝政職員も「秋冬期の栽培管理方法と病害虫の耕種的防除

※次ページに続く

生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの情報②

※前ページより続く
及び薬剤防除を徹底し、秀品率の高い品物を多く出荷してもらいたい」と話していました。

同ほうれんそう部会の本年度(11月上旬)出荷数量は5万1000ケース(1ケース5kg/前年比97%)、販売金額1億7000万(同102%)となっており、冬期・春期で出荷数量の巻き返しを狙っています。

(写真下=現地栽培講習会の様子)

品種特性を活かした独自アイテムで
さらなる販売強化を
2018年産いちご部会出荷査定会



出荷規格の各種アイテム

いちご部会は11月8日、2018年産いちご出荷査定会を阿蘇市で開き、生産者や行政・JA・市場関係者など約75人が出席しました。

大津裕樹部会長は挨拶で「燃油高騰等で厳しい生産情勢が続いている中、生産者が一丸となって品質向上、出荷



増に向けて計画以上の結果が出せる年にししよう」と、熱い意気込みを述べました。

2018年産は前年より2日遅い10月30日よりの出荷開始となりました。本年度の部会員数は43戸(前年比9%)、面積11ha(同91%)で減少をしています。栽培品種は「さがほのか」(前年比46%)、「ゆうへに」(同94%)、「恋みのり」(同167%)の作況指数となっており、栽培性・収量性に特化した「恋みのり」が約50%の作況割合を占めています。

パックセンターでは2段詰め、平パック詰め以外の品種特性を活かした独自のアイテムで、さらなる販売強化を狙う計画です。

営農部園芸課の江藤秀晃指導員は「定植後から台風の影響等で心配され

たが、その後は好天に恵まれ例年通りの順調な生育を確認。病害虫でのロス果も少なく、大玉で良質な出荷を開始した。今後も花芽が連続していることから年内は潤沢な出荷増を期待している」と、抱負を語っていました。



写真上=パックセンター作業の様子
写真右=出荷査定会会場の様子

産地品質向上を目指し研修会
トルコギキョウ専門部会



研修会で品種説明に用いられたトルコギキョウ

JA阿蘇営農部園芸課は11月9日、管内のトルコギキョウ生産者を対象に2018年度産に向けての新品種説明会と品質向上のための研修会を開きました。研修会には生産者や品種メーカー・JA経済連・県職員ら約50人が参加しました。

研修会では、新品種について種苗メーカー6社が花卉の大きさや丈の長さ、生育に適した圃場の条件、出荷時期などの特徴を説明しました。生産者はカタログを見ながら、新品種サンプルの切り花を手に取り確かしていました。

また、JA熊本経済連より新しい土壌消毒剤等の紹介や県ブランドを目指した芽摘みについての講習も行われま

※次ページに続く



スマイル



★氏名 杉原 隆太(スギハラ リュウタ)
 ★所属部署 営農部営農企画課営農企画係
 ★趣味 映画・音楽鑑賞
 ★一言コメント=「入組1年目となり、主に新規就農関係や青色申告などの仕事を担当しています。新人職員なので、先輩方や上司に相談しながら、一つ一つの仕事を丁寧にするのを心掛けています。一人でも多くの組合員さんに顔と名前を覚えてもらい、頼られる職員を目指して頑張ります。」

※前ページより続きました。
 トルコギキョウ専門部会(仮)代表の白石豊和さんは「当産地は高冷地から中山間地域が主で生産環境に差があるため、品質にバラつきが目立つ。今後関係機関としっかり連携して、品質・所得向上に繋がる勉強会や、経営向上に繋がる研修会を定期的に開催したい」と抱負を語っていました。

JA阿蘇年金ゴルフ大会 初秋の阿蘇でナイスショット



第4回JA阿蘇年金ゴルフ大会が10月24日、阿蘇市のあつまる阿蘇赤水ゴルフ倶楽部で行われ32人の選手が参加しました。

本大会は会員相互の健康増進を図り、親睦と融和を深めることを目的に開かれており、今回で4回目の開催となりました。開会式では主催者の春山常務があいさつ。昨年度優勝の後藤幹男さんが始球式を行い、プレーが始まりました。競技方法はダブルペリアで行われ、選手たちは気持ち良い初秋の阿蘇で爽やかプレーを楽しみました。

熱戦の結果、田上幸敏さん(高森)が優勝しました。上位入賞者8人は11月22日、宇城市のあつまるレークカントリークラブで行われた県大会に出場しました。成績は次のとおり。(敬称略)
 ▽優勝Ⅱ田上幸敏(高森)、準優勝Ⅱ興枙富美夫(蘇陽)、3位Ⅱ草村征憲(高森) ▽グロスの部優勝Ⅱ中山安範(阿蘇町)(写真は上位入賞の左から中山・興枙・田上・草村の各選手)

秋晴れの下、選手187人が好ゲーム展開 年金友の会グラウンドゴルフ大会



JA阿蘇年金友の会は10月20日、一の宮運動公園で「年金友の会第16回親善グラウンドゴルフ大会」を開催しました。本大会は会員相互の健康増進を図り、親睦と融和を深めることを目的に毎年行われています。
 今回は阿蘇管内から187人の会員が参加。開会式では選手を代表して高

森支部の綾部誠子選手が元気に選手宣誓を行いました。各選手は秋晴れの下、日頃の練習成果を発揮し好ゲームを繰り広げ、楽しい一日を過ごしました。競技の結果は次のとおり。(敬称略)
 ▽優勝Ⅱ山野一信(西原) ▽準優勝Ⅱ木實登(小国郷) ▽3位Ⅱ室原紀美子(小国郷)。(写真はいずれも年金友の会グラウンドゴルフ大会のひとコマ)





**年金友の会親善ゲートボール大会
13チーム71人が親睦と融和を深める**



J A阿蘇年金友の会は11月10日、阿蘇市の旧役犬原小学校のグラウンドで「親善ゲートボール大会」を開催しました。本大会は会員相互の健康増進を図るとともに、地域の親睦と融和を深めることを目的に行われています。

今年阿蘇管内から13チーム71人の会員が参加。開会式では選手を代表として小国郷チームの大塚一東選手が



**第12回学童わんぱく軟式野球大会
「阿蘇西イーグルス」が優勝
準優勝「長陽少年野球クラブ」**

J A阿蘇は10月7日、第12回J A阿蘇旗争奪学童わんぱく野球大会を二の宮総合運動公園グラウンドで開き、阿蘇郡市の小学校で構成する7チームが参加し熱戦を繰り広げました。



阿蘇西イーグルス主将の
原住唯君の選手宣誓

元気に選手宣誓を行いました。

各選手は秋晴れの中、日頃の練習の成果を発揮し熱戦を繰り広げ、楽しい時間を過ごしました。

競技の結果、優勝は尾ヶ石チーム、準優勝は今町5チーム、3位は南阿蘇Bチームとなりました。(写真右上はプレートの様子、写真上は大塚選手の選手宣誓、写真下は表彰式の様子)



第12回学童わんぱく軟式野球大会開会式の様子

この大会は組合員・地域住民が住みなれた地域で、健康で安心して暮らせる豊かな地域社会・環境づくりに貢献するため、社会貢献活動の一環として開催されたものです。

開会式では春山代表理事常務が「最後まで頑張ってください」とあいさつ。選手を代表して阿蘇西イーグルス主将の原住唯君が、元気に選手宣誓を行いました。試合は順調に行われ阿蘇西イーグルスと長陽少年野球クラブで熱戦が行われた結果、阿蘇西イーグルスが12対4で優勝に輝きました。



準優勝の「長陽少年野球クラブ」チーム



優勝の「阿蘇西イーグルス」チーム

表示金利の
適用期間

平成30年
8月1日

▼

平成31年
4月30日

生活応援 キャンペーン 2018

JA マイカーローン

変動金利型 年 1.70 %

店頭標準金利 年1.975% より
(変動金利型) (平成30年8月1日現在) **年0.275% 引下げ**

下記の **金利引下げ条件** を必ずお読みください。



更なる金利引下げ条件

- ・以下の1～5を満たすお客さまは店頭金利からそれぞれの条件に応じて引下げを行います(1～5の該当項目に関わらず、引下げ幅の上限は最大金利引下げ幅となります。)
- 1. 当JAでJAカード(クレジットカード)を契約中または新たに契約される方
- 2. 当JAに農産物販売代金・給与振込・年金振込を指定されている方または新たに指定される方
- 3. 当JAに公共料金(電気・電話・水道・ガス・NHK受信料等)の口座振替を指定されている方または新たに指定される方
- 4. 当JAから自動車購入される方
- 5. 当JA自動車共済加入(購入車)される方(11/30日まで適用)
当JAにてJAネットバンクを契約中または新たに契約される方(12/1日より適用)

ご注意ください

- 表示金利は、平成30年8月1日～平成31年4月30日にお申込みいただき、平成31年5月31日までに借入れされた場合の適用金利であり、お借入当初に適用されるものです。
- なお、金融情勢等の変化により、本チラシの表示金利を見直しさせていただきます場合があります。
- お借入れ後の利率は基準日(4月1日および10月1日)の基準金利により、年2回の見直しを行います。(変動金利型)

- ※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。
- ※店頭にて返済額の試算を承っております。
- ※ローン商品の詳しい内容については、店頭にて説明書をご用意しております。
- ※ご返済の滞りなどが発生した場合には、引下げ後金利の適用を中止し、店頭標準金利に引き上げさせていただきます。

JAマイカーローンの商品概要

ご利用いただける方	<ul style="list-style-type: none"> ●お借入れ時の年齢が満18歳以上で最終償還時の年齢が満80歳未満の方 ●前年度税込年収が150万円以上ある方(自営業者の方は前年度税引前所得) ●当JAが指定する保証機関の保証が受けられる方 ●その他当JAが定める条件を満たす方
お使いみち	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車購入資金(新車・中古車・自動二輪) ●自動車購入時の諸費用(税金・自動車共済(保険金)掛金、登録諸費用等)、車検・整備の費用、カー用品の購入費用 ●運転免許の取得費用 ●簡易な車庫建設のための費用(100万円以内) ●他金融機関・信販会社等自動車ローンの借換資金
お借入金額	●10万円以上1,000万円以内(所要金額の範囲内)
お借入期間	●6か月以上10年以内
ご返済方法	●元利均等返済(月払方式またはボーナス月増額返済併用方)
担保・保証人	<ul style="list-style-type: none"> ●担保: 不要です。 ●保証: 当JAが指定する保証機関の保証をご利用いただきますので、原則、保証人は不要です。別途、保証料が必要となります。(熊本県農業信用基金協会の場合 保証料: 年0.80%)

JA阿蘇

本所	0967-22-6111
一の宮中央支所	0967-22-1321
阿蘇南蘇陽支所	0967-83-1135
阿蘇南高森支所	0967-62-0521
阿蘇南中央支所	0967-62-9131
阿蘇町中央支所	0967-32-4411
小国郷中央支所	0967-46-3211

「JAとのお取引はこれから」というお客さまも気軽にお問い合わせ・ご相談ください。(ご利用に関しては、組合員加入のための出資が必要となります。)

「JA阿蘇きらり」



所属部署＝営農部農産課

おしま
小嶋 ゆきとし
幸俊

- ★趣味＝読書、家族とのドライブ
- ★一言コメント＝入組16年目、今年の異動で本所勤務となりました。目まぐるしく変化する農業を取り巻く情勢・政策を理解、精査し、いち早く組合員の皆様へお繋ぎ出来るよう、今後も精進していきたいと考えております。



所属部署＝営農部農産課精算係（本所）

ふるさわ
古澤 あやの
綾乃

- ★趣味＝カフェ巡り
- ★一言コメント＝今年で入組14年目となりました。私はお米と肉が大好きで、昨年度から営農部に配属になったことをとても嬉しく思っています。組合員、利用者皆様のお役に少しでも立てるよう頑張ります。

はつもうで
JA阿蘇イラスト違い探し「初詣」

(出題:イラストレーター みやたまゆき)

左右2枚のイラストには、違っているところが4か所あります。探してみてください!



※答えは15ページにあります。

理事会・監事会報告

■平成30年度第9回理事会

日時 平成30年10月29日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

委員会報告(総務専門委員会・経済専門委員会)

平成30年度上半期決算実績報告について

- 1) 事務リスク管理規程の改正について(案)
- 2) 出資金減口(差押え)について
- 3) 法人登記事項の変更にかかる一律要請及び劣後ローンの追加募集について(案)
- 5) 貸出金について
- 6) 専門委員会委員の補欠選任について(案)

報告事項

- 1) 内部監査実施状況報告書(平成30年7月～9月)について
- 2) 事務ミスの発生状況について(半期報告)
- 3) 県域ローンセンター媒介業務実績(平成30年9月分)について
- 4) 平成30年度顧客属性システム(CCS)定期確認について
- 5) H30年度上半期理事会付議貸出金実行について(報告)
- 6) ガス料金の改定について
- 7) JA-SS県下統一キャンペーンの実施について
- 8) 平成30年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの進捗状況(平成30年9月末)について
- 9) 不祥事未然防止の為の行動計画進捗状況(平成30年9月末)について
- 10) JA阿蘇活動総合3ヶ年計画の進捗状況(平成30年9月末)について
- 11) 旧馬見原支所の解体工事について

4. 閉会

■平成30年度第10回理事会

日時 平成30年11月27日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

○県常例検査講評(熊本県農林水産部団体支援課団体検査室)

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

平成30年度上期決算分析について

10月末実績について

平成30年度全国監査機構決算監査期中改善指示書について

- 1) 平成30年度下期余裕金運用計画について(案)
- 2) JA事業運営モデル(農林中金の利用率)の選択について(案)
- 3) 貸出金について
- 4) 会計監査人候補者の選任について
- 5) 職員年末賞与支給について →

報告事項

- 1) 平成30年度余裕金運用状況(9月末)について
- 2) 「熊本県農業経営危機突破大会」並びに「第26回JA熊本県大会」の開催について
- 3) 平成30年産米集荷実績(平成30年10月末)について
- 4) 総合展示会実績について

4. 閉会

●平成30年度第7回監事会

日時 平成30年10月29日午前10時

場所 本所2階 第1会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 平成30年度上期決算棚卸監査取りまとめ事項について
- 2) 平成30年度上期決算監査事務手続きについて
- 3) 予備調査を依頼する会計監査人候補者及び次期通常総代会に提案される会計監査人候補者の決定について

報告事項

- ① 常勤監事業務報告について
- ② 常勤会議等報告について
- ③ 内部監査実施状況報告について(7月～9月)
- ④ 行事予定について

4. 閉会

●平成30年度第8回監事会

日時 平成30年11月13日午後1時30分

場所 本所2階 第2会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 平成30年度上期決算監事監査とりまとめについて

4. 閉会

●平成30年度第9回監事会

日時 平成30年11月27日理事会終了後

場所 一の宮中央支所小会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 平成30年度上期決算監事監査報告書(案)について
- 2) 平成30年度導入家畜等棚卸監査実施要領(案)について

報告事項

- ① 常勤監事業務報告について
- ② 常勤会議等報告について
- ③ 行事予定について

4. 閉会

JA共済 平成30年度「自転車交通安全教室」開催

自転車利用の頻度が高い中高生を対象にした自転車交通安全教室が10月10日、阿蘇中央高校で開かれました。

この教室はJA共済が警察等と連携して2009年より取り組んできており、プロのスタントマンが交通事故を再現することで、事故の衝撃による怖さなどを実感させ、交通事故を未然に防止する目的で行われました。主催者である原山寅雄組合長の挨拶のあと、スタントマンが傘差し運転など危険な自転車走行で発生する交通事故の場面を再現し、生徒にどうしたら事故が防げるか等を考えさせたり、交通规则を守る大切さを呼びかけました。

県警本部からも、交通规则を守っても、相手が突っ込んでくる場合があるので、ヘルメットを着用し、自分の命は自分で守るということを呼びかけました。

JA共済は、これからも交通事故のない社会を目指し、交通事故の未然防止などの地域貢献活動に取り組んでいきます。



スタントマンによってリアルに再現された交通事故

春がきたよ!

春実感! 春の息吹と大地の香り



第44回

JA植木まつり

2019 1/19(土) ▶ 2/18(日)

開園時間 / 午前 9 時 ~ 午後 5 時

熊本県農業公園
カントリーパーク
(熊本県合志市栄3802-4)

JA 熊本経済連

